

第5回基本構想審議会【部会審議事前提出質問・意見一覧表】

質問	意見	審議日： 10月 16日(木) 基本目標5「快適に生活できる、都市機能の充実したまち」	委員名																					
		13-1 目標指標の市民満足度20%未満であるが、不満足の内容は？	中村会長																					
		<p>【回答】計画的な土地利用の推進についての満足度を伺った結果では</p> <table border="0"> <tr> <td>非常に満足・やや満足</td> <td>17.2%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>どちらともいえない</td> <td>43.1%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>やや不満・非常に不満</td> <td>29.3%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td>10.4%</td> <td>となっております。</td> </tr> </table> <p>また、土地利用のあり方についての質問に対しては、</p> <table border="0"> <tr> <td>「農地・山林等の開発を最小限に、自然を保護した災害に強い土地利用」</td> <td>65.5%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>「狭隘な土地事情から、ある程度の土地利用の混在は仕方ない」</td> <td>41.8%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>「土地利用区分を明確にし、住宅と工場等の混在を解消する」</td> <td>24.8%</td> <td>となっております。</td> </tr> </table> <p>アンケートにおいて、具体的な不満足の原因は明らかにはできていませんが、アンケートに添えられたいくつかのご意見とも考え合わせますと、土地利用区分の明確化といった部分の不満足というよりも、周辺市街地の整備、工業用地確保に向けた計画的な土地利用、駅前開発などを促進すべきといった思いが、満足度の低さにつながっていると推測しております。</p> <p>伴うご意見は多岐にわたっております。</p> <p><アンケートに添えられた主な意見></p> <ul style="list-style-type: none"> ・30年、40年、100年先を見据えた計画を ・都市開発を進めて商業、工業の誘致を ・駅前開発の促進 ・周辺市街地の整備促進 ・西山開発 ・工業用地の確保 ・宅地開発の促進 ・住環境の整備 	非常に満足・やや満足	17.2%		どちらともいえない	43.1%		やや不満・非常に不満	29.3%		無回答	10.4%	となっております。	「農地・山林等の開発を最小限に、自然を保護した災害に強い土地利用」	65.5%		「狭隘な土地事情から、ある程度の土地利用の混在は仕方ない」	41.8%		「土地利用区分を明確にし、住宅と工場等の混在を解消する」	24.8%	となっております。	都市計画課
非常に満足・やや満足	17.2%																							
どちらともいえない	43.1%																							
やや不満・非常に不満	29.3%																							
無回答	10.4%	となっております。																						
「農地・山林等の開発を最小限に、自然を保護した災害に強い土地利用」	65.5%																							
「狭隘な土地事情から、ある程度の土地利用の混在は仕方ない」	41.8%																							
「土地利用区分を明確にし、住宅と工場等の混在を解消する」	24.8%	となっております。																						
		13-2 中心市街地の整備(3ヶ所)は市民の関心が高い内容であるが、検討しますの範囲にとどまっており、具体策が見えない。	中村会長																					
		13-3 目標指標が居住面積は不適	〃																					
		14-1 目標指標の道路の改良率とは？	〃																					
		<p>【回答】</p> <p>都市計画道路の改良率は、岡谷市において都市計画決定している30路線の計画総延長54,510mに対する、改良済み延長28,634mの割合を百分率で示したものです。</p>	都市計画課																					

	15 - 3 公園整備について、子供の利用率が低下しており、従来の子供重点の公園から高齢者対象の公園への転換を。	中村会長
	基本目標5(13-1・2)について、第3次の後期基本計画の第1章にあたる部分だと思われるが、施策の記載(記述)内容のほとんどが以前のままであり、第3次の検証と課題等が、どのように反映されていらっしゃるのでしょうか?また、土地利用に際して、どこにプライオリティ(優先順位)をおいていらっしゃるのでしょうか?(産業(工業や商業)振興なのか宅地なのか)	林健一委員
	<p>【回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> 第3次の検証と課題はどのように反映されているか? 第3次総合計画では岡谷市国土利用計画や都市計画マスタープランを策定する中で、用途地域の指定などを中心として、計画的で効率的な土地利用のため、地域の特性を活かした規制・誘導を行ってきました。 また、街の活力を高めるための市街地整備として、長地山の手土地地区画整理事業、岡谷駅南地区土地地区画整理事業などの面的な整備や、工場団地の造成などを実施してきました。 しかしながら、計画的な土地利用の推進は短期的に実現できるものではなく、長期的、総合的な視野にたつて継続的に推進していかなければならないものであるため、今後も引き続き取り組んでまいります。 土地利用における優先順位(工業や商業振興なのか宅地なのか) 「快適に生活できる、都市機能の充実したまち」を実現し、均衡ある都市の発展につなげてゆくためには、住宅、工業、商業、農業や周辺の自然環境など、地域の特性を活かす中で、計画的で効率的に計画していかなければなりません。 このため、市域全体の中でいずれかの土地利用を優先させるというのではなく、それぞれの地域において、その地域の現況や特性、社会情勢を十分に考慮する中で方針を定めていかなければならないと考えております。 	都市計画課
	前回申し上げましたが、目標指標・数値の記載内容については、意図(ねらい)の分からないものが多いので事前に説明頂くか、内容を再考頂きたい。	林健一委員
	施策13・14・15について、現況と課題にも記述がありますように岡谷市には利用可能な土地は限られております。その中で、13・14・15のどれが最重要課題なのでしょうか?市民アンケートからの数字(目標指標・数値)である満足度が何を指しているのか理解できませんが、計画的な土地利用の中で優先すべきは何なのかご説明下さいませ。	〃
	<p>【回答】</p> <ul style="list-style-type: none"> 13「計画的土地利用の推進」、14「交通網の整備」、15「都市空間の充実」のどれが最重要課題か? 基本目標5「快適に生活できる、都市機能の充実したまち」を実現していくためには、「計画的土地利用の推進」、「交通網の整備」、「都市空間の充実」のいずれもバランスよく進めていく必要があると考えています。 市民アンケートからの数字の意味 	都市計画課

	<p>目標指標として市民アンケートにおける満足度を用いたものについては、他の具体的な数値指標が困難なものについて、市民の満足度の向上を指標としたものであります。</p> <p>・計画的土地利用の中で優先すべきことは何か？</p> <p>計画的で効率的な土地利用を進めるためには、都市計画マスタープランに基づく用途地域の指定などにより、地域の特性を活かした規制・誘導を行うことが重要であると考えております。</p>	
	<p>15 - 3について、資料・データを見ると理解ができますように、岡谷市の都市公園の中で計画面積に対して整備が残っているのは湖畔公園だけであります。ここに記述すべきは、(1)の や(2)の についての具体的な内容であると考えます。</p>	林健一委員
	<p>20号バイパスが開通し、市街地の交通集中は緩和されましたが、ICバイパス周辺に商業施設が全く進出する気配がありません。土地等の制約もあろうかと思いますが、“岡谷の1つの玄関”ですので何か打つ手はないでしょうか。</p>	井口委員
	<p>13 - 3(2) 複合的な住宅整備が必要かと考えます。住居を中心に“駅が近い”、“買い物ができる”、“医療がある”、“学校がある”といった複合整備が必要ではないでしょうか。</p>	”
	<p>14 - 2(1) シルキーバスも記載のとおり「地球環境保全」といった観点を前面に出して利用促進を図ったらどうでしょうか。</p>	”
	<p>15 - 2 どの項目でも毎回指摘されていますが、「緑化の推進」と「プランター数」とはいかがなものでしょうか。</p>	”

第5回基本構想審議会【部会審議事前提出質問・意見一覧表】

質問	意見	審議日： 10月 16日(木)	総合計画の推進に向けて	委員名
			前回申し上げましたが、目標指標・数値の記載内容については、意図（ねらい）の分からないものが多いので事前に説明頂くか、内容を再考頂きたい。	林健一委員
			第1回の時にも若干話をしましたが、総合計画の推進に向けてという部分は、基本目標1～5の上に来るものだと考えます。審議会の中で基本目標1～5について会議を重ねる中で、基本目標1～5を達成するための大前提であると考えます。（補完するものとも考えられますが）	〃
			「開かれた市政運営」（市民の声を市政に反映させる仕組み）とは、どのようなものか？	〃
			<p>【回答】</p> <p>岡谷市市民総参加のまちづくり基本条例には、市民の声を市政に反映させる市民参加のまちづくりの方法として、施策の立案及び実施にあたっては、市民懇話会、審議会、自由参加型市民会議、子ども会議などを必要に応じて設置することや、計画策定にあたって必要に応じてパブリックコメントなどを行うものと定め、これを実施しております。</p> <p>このような方法のほか、広く市民の皆様からご意見をいただく方法といたしまして、市民アンケートの実施や市政懇談会を開催するほか、Eメール、市民提案ボックスの常設などを行っております。</p>	広報情報課
			市町村合併の必要性についての見解をお聞かせ下さい。	林健一委員
			<p>【回答】</p> <p>スケールメリットを活かした市制運営など、行政改革の効果からも合併の必要性は高いと考えていますが、先の合併協議では住民アンケートの結果を受けて市町村が離脱していることから、急激な変化は望めない状況にあると考えています。</p> <p>当面は、今回の平成の大合併における先例を学び、検証するとともに、市民の声を聞きながら、将来の合併推進に向けた仕組みづくりを検討していくことが必要と考えています。</p>	企画課
			181Pの図と18・19Pの表を上手く組み合わせ、視覚的に分かりやすい図表をお願い致します。	林健一委員
			P187 数値はどんな意見が寄せられ、その回答はどこを見ればわかりますか。	宮坂副会長

	<p>【回答】 市民提案ボックス等寄せられた意見等の「数値」につきましては、事務事業評価表で公表しています。「内容分類」については「広報おかや」で掲載してきましたが、今年度はまだ掲載しておりません。</p> <p>提案等に対する回答については、回答先が明記されているものにつきましては全て個人宛に送付しており、市で回答文の公表はしておりません。</p> <p>質問、意見の公表につきましては、現在、市ホームページの「よくある問い合わせ」欄に掲載できるか検討しているところであります。</p>	広報情報課
	P191(1) 「質の高い市民サービス」とは具体的に何を示しますか。	宮坂副会長
	<p>【回答】 人事評価制度（新たな勤務評定制度）の活用により職員の意欲を引き出し、意識改革や能力の向上を図ることで、第4次総合計画の各施策を実行に向けて、多様化する市民ニーズを的確に把握し、市民の皆さんにとって満足度の高いサービスが提供できる職員の育成に努めて参りたいというものであります。</p>	総務課

その他の意見

質問	意見	審議日： 10月 16日(木)	委員名
		前期の重点プロジェクトは「たくましい産業の創造」と「輝く子どもの成長」ですが、どちらも重要なテーマであると認識しておりますが、どちらにプライオリティ（優先順位）をおいているのかも教えてください。	林健一委員
		<p>【回答】 両方を並列扱いとしていますが、実際に事業を実施するうえでは、それぞれの年度で事業の数やボリュームには違いが出てまいります。</p>	企画課
		意見が各論的になる（あれが欲しい、が少ない）といったところに言及する傾向があり、岡谷市の上位計画を審議するにはいかがなものでしょうか？	井口委員

<p>【前回の会議での質問】 岡谷小学校付近の市道は道幅が狭く坂道であり、特に児童の通学時は危険である。 他市ではスクールゾーンを設定しているところもあるが、岡谷市においてはなぜ設定していないのか。</p>	林勝利委員
<p>【回答】 スクールゾーンの設定について、岡谷警察署交通課より聴取。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡谷市内においては、スクールゾーン（歩行者用道路）を設定してある箇所はありません。 ・スクールゾーン（歩行者用道路）の設定については、規制の適用となる区間、時間、曜日は、学校、PTA、地域住民等と個々具体的な検討・協議を行いながら、地域事情を考慮し、また、周辺の道路交通の安全と円滑な調和を図りながら公安委員会で決定しています。 ・スクールゾーン（歩行者用道路）を設定することにより、設定された区間、時間帯は、歩行者用道路となるため、付近の地域住民の方が通勤等で設定された道路を車で通行することは禁止されます。 スクールゾーンを設定した地区内に居住している住民には、その区間、時間帯は車の通行規制を受けることになり、日常生活にも支障が生じることになります。 ・都市計画事業の、区画整理事業等により、道路環境が整備され、スクールゾーンの設定されている道路以外を通行し通勤等できる地域は、スクールゾーンを設定しても問題ありませんが、岡谷市内の道路は、交差点も多く、それぞれの道路を生活道路として利用しているため、スクールゾーンの設定は困難と考えます。 ・岡谷市内においては、スクールゾーンの設定は道路事情からして無理があるため、公安委員会において指定方向外通行禁止（右左折・直進の禁止）の規制をすることにより、学校等の周辺道路の規制を行い、車の交通量を減らしてスクールゾーンと同等の効果により、学童通学の安全確保に努めているとのことであります。 	市民生活課

《今後の審議スケジュール(案)》

10月16日	木	13:30～16:00	「基本目標5」、 「総合計画の推進に向けて」
			(事務局) 審議事項の整理 
23日	木	13:30～16:00	全体審議 答申書へ盛り込むべき事項の 方向づけ
			(事務局) 答申書素案の作成 正副会長会 答申書原案の作成  原案の委員配布・検討
28日	火	午後5時まで	(委員) 原案に対する意見を事務局へ (事務局) 委員からの意見整理資料作成
29日	水	13:30～16:00	答申書案の検討 (委員からの意見資料参照) 
			(事務局) 答申書案の修正
11月4日	火	13:30～ 14:30～ 15:00～15:30	最終答申書案の確認 (休憩、 必要により修正) 答申